3月9日発行

平成28年度

南中だより

第28号

伊丹市立南中学校

「親への思いを届けようプロジェクト2016」作品紹介

先日、今年度の「親への思いを届けようプロジェクト2016」の表彰式がありました。毎年子どもたちの素直な気持ちが表現された作品がたくさんあります。本校からも3名の生徒の作品が選ばれましたので紹介します。

なお、本校に対しても毎年積極的に取り組んでいるということで「学校奨励賞」をいただきました。

中学校3年生の部 審査員賞 3年4組 K・T

母さんへ

いつも私の話を何も言わずに聞いてくれたり、私の駄目なところをやさしく正してくれる母さん。そんな母さんが私は大好きです。

母の日にカーネーションを買ってプレゼントしたことを覚えていますか。あのあと、すぐに花を花瓶にいけて、玄関に飾ってくれた時は、感謝で心がいっぱいでした。

あれからずっと、母さんへの感謝を忘れたことはありません。いつだって明るくてやさしい母さん。本当に、いつもありがとうございます。

また迷惑をかけると思いますが、これからもよろしく願います。

中学校2年生の部 入選 2年5組 T・S

お父さん・お母さんへ

いつも私を応援してくれてありがとう。

お父さんは凄くおもしろくて話とか趣味が合うから楽しいで

す。中2でこんなにお父さんと仲がいいのはめずらしいかもね・・・。これからも良い話し相手として、お父さんとして仲良くして下さいね。

お母さんはすごくおおらかで尊敬できるお母さんです。私のことをよく気にかけてくれて部活とか学校でのこととかよく聞いてくれるから大事にされていることよく分かります。いつもありがとう。

中学校1年生の部 入選 1年4組 Y・M

家族のみんなへ

今回、普段の思いを伝える機会があったので、伝えていきます。

振り返ると、何気ない「ありがとう」や「ごめんなさい」を言葉にしていないと思いました。一体、いつから素直に感謝の言葉を口に出せなくなったのでしょうか・・・

ひいおばあちゃんが亡くなったときに、ものすごく後悔したことがあります。それは、手紙の返事を書かなかったことです。あの時、これが最期だと知っていたら、ひいおばあちゃんに手紙を溢れるほど書いたのに・・・と、この時「後悔先に立たず」という言葉を、身にしみて感じたのを、今でもはっきり覚えています。

だから、後悔したくないから、私は自分で、限られた時間の中で伝えていきたいです。自分の夢を叶えたいです。

「いつもごはんを作ってくれてありがとう」

「いつも洗たくをしてくれてありがとう」

「いつもそうじをしてくれてありがとう」・・・

たくさんの言葉を、これから伝えられるようにしたいです。そしていつか、いろいろな形で、恩返しをしていきます。今までありがとう。

これからも、こんな私をよろしく願います。